

新型コロナウイルス 冬の対策に協力を

年末年始の感染拡大を防ぐため、「マスクの着用」「3密の回避」「手洗い・消毒」などの基本的な感染症対策を改めて徹底しましょう。

会食をするときは「静かなマスク会食」をお願いします。

☎保健管理課(☎025-212-8194)

※内閣官房HP参照。情報は12月10日時点のもの

いつでも気を付けたい「5つの場面」

1 飲酒を伴う懇親会

- ・飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい
- ・特に敷居などで区切られている狭い空間に長時間大人数が滞在すると、感染リスクが高まる
- ・回し飲みや箸などの共有が感染リスクを高める



2 大人数や長時間におよぶ飲食

- ・長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて感染リスクが高まる
- ・大人数の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため感染リスクが高まる

3 マスクなしでの会話

- ・マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染のリスクが高まる
- ・マスクなしでの昼カラオケなどでの感染例が確認されている
- ・車やバスで移動するときの車中でも注意が必要



4 狭い空間での共同生活

- ・狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる
- ・寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている



5 居場所の切り替わり

- ・仕事中休憩時間に入ったときなど、居場所が切り替わると気の緩みや環境の変化により感染リスクが高まることがある
- ・休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている



会食時の注意ポイント

- ・飲酒するのであれば
 - ①短時間で
 - ②なるべく普段一緒にいる人と
 - ③深酒・はしご酒などは控え、適度な酒量で
- ・箸やコップは使い回さず、一人一人で
- ・席の配置は斜め向かいに(正面や真横はなるべく避ける)
- ・会話するときはなるべくマスクを着用(フェイスシールド・マウスシールドはマスクに比べ効果が弱いことに留意が必要)
- ・換気が適切になされているなどの工夫をしている、ガイドラインを遵守した店で
- ・体調が悪い人は参加しない



新型コロナウイルス感染症最新情報はこちら

新潟市HP

新潟市 新型コロナウイルス 検索

スマートフォンは
こちらから



厚生労働省HP

厚労省 検索

スマートフォンは
こちらから



発熱したら、かかりつけ医へ

発熱などの体調不良があるときは自分で判断せず、かかりつけ医などに電話で相談し、受診してください。かかりつけ医を持たない人やどこに相談してよいか分からない場合は、新潟県新型コロナ受診・相談センターへ相談してください。

新潟県新型コロナ受診・相談センター

☎025-256-8275

※24時間対応。土・日曜、祝日も受け付け

FAX025-246-5672 ※保健管理課。月～金曜9時～17時

心の感染予防を STOP 差別・偏見

医療従事者に対する店舗利用拒否、感染者に対するインターネット上の誹謗中傷、県外在住者に対する施設利用拒否などの事例が確認されています。人と人との信頼関係や社会のつながりを大切にし、差別のない社会を目指しましょう。

☎広聴相談課(☎025-226-1025)

感染者を非難しない

感染は誰にでも起こる可能性があり、感染者は非難される対象ではなく、守られるべき存在です。他の人からされたら嫌だと思ふことは自分もしないという気持ちを常に持ち続けましょう。

感染者が出た職場や家族を非難しない

感染者だけでなく、その職場や家族などへの差別的言動や誹謗中傷は、相手の心を深く傷つけます。また、症状がある人が受診をためらい、感染拡大につながりかねません。

風評被害を防ごう

うわさやデマなどの不確かな情報や誤った情報をむやみに拡散しないようにしましょう。国や県、市が発信する正確な情報に基づき、冷静な行動を取りましょう。

私たちの健康と生活を守ってくれる人に感謝の気持ちを

私たちの命と健康を守る医療従事者、福祉施設で働く職員など、社会を支える人たちに感謝と思いやりの気持ちで接しましょう。